

株式会社 イトーキ

ITOKI スピーナ カーボン・オフセット プロジェクト

スピーナチェアシリーズ全32機種を100%カーボン・オフセット。クレジットはCERを使用し、環境貢献と並んで開発途上国への国際貢献も図っている。



取組の概要

フラッグシップチェアであるスピーナシリーズ全機種のライフサイクル全体から排出される温室効果ガス(GHG)排出量の全量をオフセットしている。200点を超える部品点数の多い耐久消費財をオフセットすることは算定が非常に複雑であったが、製品のライフサイクルにおいて発生するGHG排出量を正確に把握し、全量をオフセットすることによって、カーボン・オフセットの理解普及に一役担いたいと考え、本プロジェクトを推進している。さらに、信頼性・透明性を高めるためにタスクチェアでは初めてのカーボン・オフセット認証を取得し、環境省2010年度カーボン・オフセットモデル事業に採択された。

オフセットの分類	商品・サービス型	認証取得(制度名)	カーボン・オフセット認証
取組の実施時期	①第1期: 2011年1月1日から2011年11月30日までの出荷分、および11月30日時点での在庫分、②第2期: 2011年12月1日から2012年11月30日までの製造分		
クレジット	クレジットの種類	CER	
	プロジェクトの種類	排出削減系	
	プロジェクトの名称	①インド・タミルナードゥ州における風力発電プロジェクト、 ②インド・カルナタカ州NSL27.65MW風力発電プロジェクト	
	プロジェクト実施地	インド	
オフセット量	①1,136tCO ₂ 、②1,141tCO ₂ 、合計:2,277tCO ₂		
無効化日	①2011年2月14日、2011年7月21日、2011年12月14日、 ②2012年7月13日、2012年12月18日		
販売数、参加者数等	①9,312脚 ②8,711脚		
価格、参加費、クレジット費用の負担	全額イトーキが負担し、商品への価格上乗せは行っていない。		
オフセット・プロバイダー	三菱UFJリース株式会社		

オフセットの対象範囲 及び GHG排出量の算定方法	GHG排出量の削減努力
最小販売単位(本体、取扱説明書および梱包材1セット)のライフサイクル全体(原材料調達-生産-流通-廃棄-リサイクル)を算定対象とし、オフセット比率100%の状態でお客さまに届けられるように、算定範囲全体をオフセット対象とした。	イトーキ滋賀工場では以下に注力してチェアを生産。 ・エネルギー監視システムや高効率設備の導入、省エネチェックの実施などにより、環境負荷を極限まで抑える。 ・排出される産業廃棄物についてはゼロエミッションを達成している。
取組んだことによるメリット・良かった点	取り組む際に工夫した点・苦労した点
環境配慮商品として差別化を図ることに成功した。顧客から「環境配慮商品」ということが採用に向けて社内理解も得られやすかったという声が寄せられている。また、会社としての環境経営面においても好影響を及ぼしており、この分野でのブランディングも構築にも一役担っている。	工夫した点:一脚ごとにカーボン・オフセット認証ラベルを貼付し、購入者のみならず来訪者の目にも触れるようにすることで採用企業の企業姿勢もPRできるようにした。 苦労した点:ライフサイクル全体をオフセット対象にしているため、部品の8次加工メーカーまでデータを収集した。

【問い合わせ先】

株式会社イトーキ ソリューション開発統括部
担当:野村佳代

TEL:03-6228-6375

Email:info@worksens.jp

ウェブページ: <http://www.itoki.jp/spina/cos/index.html>